

Vol.3 イタリア

「オットリーノ=レスピーギ

「ローマ三部作」

<噴水・松・祭り>

オルガンソロ曲

マルコ・エンリコ・ボッシ

「聖別の時」「喜びの時」

指揮

松尾 葉子

(特別客演指揮者)



オルガン

吉田 文



管弦楽 セントラル愛知交響楽団

2023.4/21(金) 18:45開演
(17:45開場)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

☎(052)971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号(地下鉄「栄」駅下車徒歩3分)

チケット料金 / 全指定席 (未就学児入場不可) 発売日 一般 2023.1/18(会員先行 1/16・17)

S席5,000円(ペア席7,000円)・A席4,000円(ペア席5,600円)・B席3,000円・C席2,000円 / U25席1,000円

※ペア席は前売のみ、数量限定。 ※U25席は座席指定不可、公演日に25歳以下対象、要身分証明書、当団事務局のみの取扱い。

※車椅子席は当団事務局のみの取扱い。

※当団会員様は会員先行発売・会員割引価格でのご購入が可能です。

[当団事務局のみの取扱い、ペア席・U25席は割引対象外]

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。

お申込み
お問合せ

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30 土日祝休)

※チケットはホームページからも
お申込みいただけます。



プレイガイド

主催 / 公益社団法人セントラル愛知交響楽団

後援 / 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

・愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430

・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 228-154]

セントラル愛知交響楽団 超!有名曲シリーズ

セントラル愛知交響楽団がお贈りする新たな音楽の定期便「超!有名曲シリーズ」(全10回)。この音楽定期便では松尾葉子(特別客演指揮者)が欧米各国の超・超有名曲をお届けしています。音楽旅行のナビゲーターはマーシー山本教授です。

Vol.3 「イタリア」

レスピーギがローマの壮大な絵巻を素晴らしいオーケストレーションで描きました。ローマ三部作と言われるこの大曲を一度に演奏します。一つ一つの曲は長くないのですが、まるでローマ全てを堪能したかのような満足感が得られます。特にローマの祭りはマンドリンも加わり華やかな演奏が楽しめます。演奏会で三曲全てを聴くことは珍しく、ローマの噴水・松・祭りそれぞれの特色が良く表れていて圧倒されます。まさにイタリアです。

セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者 松尾葉子

指揮:松尾 葉子 (特別客演指揮者)

Yoko Matsuo

1982年フランスのプザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。1984年二期会公演の『メリー・ウィドウ』を指揮してオペラデビュー。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。2017年1月にはアムステルダム・コンセルトヘボウにて「ヴェルディ:レクイエム」を演奏し、好評を博す。平成28年度愛知県芸術文化選奨を受賞。著書「指揮者にミュージックが微笑んだ」(2003年論創社)、「指揮者、この瞬間」(2008年樹立社)がある。東京藝術大学指揮科教官を30年間務める。2015年～2020年まで愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、プザンソン交響楽団、パリ・ラムール管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者。2022年から「超!有名曲シリーズ」のメイン指揮者に就任。公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com/>

オルガン:吉田 文

Aya Yoshida

名古屋生まれ。幼少よりオルガニストを志し、中学卒業と同時に単身渡独。ケルン音楽大学カトリック教会音楽科、並びにパイプオルガン演奏科を卒業。ドイツ国家資格A級教会音楽家、ドイツ国家演奏家資格取得。2006年より活動の拠点を日本に移し、パイプオルガンと教会音楽文化の普及に力を入れている。ベルリン・コンツェルトハウスを始めとするヨーロッパ諸国のオルガンコンサート、フェスティバル等から多々招聘を受けている他、オーケストラ、合唱、諸編成アンサンブルのパートナーとしても定評がある。米、豪、独などの現地専門誌で高評価を得たCD「Streiflichter」の他、ニューヨークのzoho社からリリースされた「Fantasy 1720」など5枚のCDを制作。名古屋女子大学准教授。南山大学非常勤講師。朝日カルチャーセンター、南山大学エクステンションカレッジ講師。「名古屋オルガンの秋」主宰。平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。令和3年度名古屋市民芸術奨励賞受賞。

管弦楽:セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

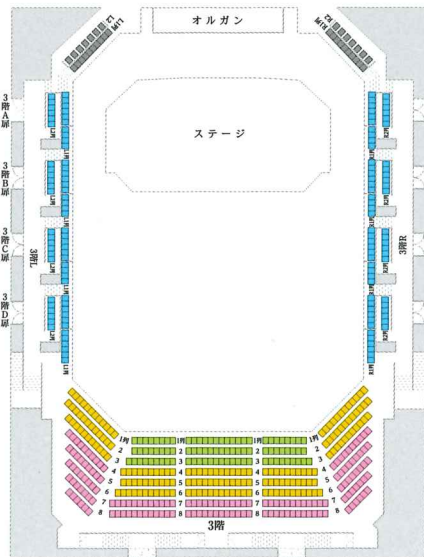
1983年ナガヤシティ管弦楽団として発足。1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。2022年度からは愛知県芸術劇場コンサートホールで「超!有名曲シリーズ」を含む新たなシリーズをスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。



客席のご案内

1・2階席

3階席



セントラル愛知交響楽団
超!有名曲シリーズ Vol.4
「ドイツ」
2023年7月27日(木)開催決定!
指揮/松尾 葉子 (特別客演指揮者)
『ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」』ほか

感染症対策ご協力をお願い

- チケット購入時にご登録頂く個人情報は会場内で感染者が出た場合、保健所等の指導のもとに提供する場合があります。ご了承ください。
- 発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。
- 会場内でのマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。
- 出演者への贈り物・面会をご遠慮ください。

※2022年9月現在の対策です。今後状況により変更となる場合があります。最新の情報は当団HPにてご確認ください。